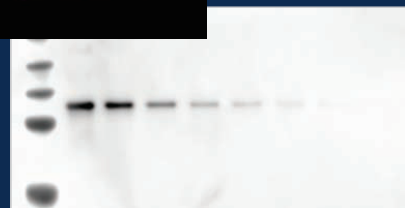


## ウェスタンブロットデータの 品質を改善しませんか



## 特別価格 キャンペーン

2026 年 7 月 15 日 (水) ~ 12 月 25 日 (金) 受注分まで

化学発光 + 近赤外蛍光 イメージングシステム

### Odyssey® XF

¥7,900,000 (税別)

▼  
**¥5,800,000 (税別)**



26 Years  
Experience

### ここが違います！

#### > 6 桁のダイナミックレンジ

ウェスタンブロット撮影のために設計された CCD カメラを搭載し、6 桁を超えるダイナミックレンジを持ちます。強いバンドをサチュレーションさせることなく、弱いバンドも同時に撮影可能です。

#### レーザー励起による優れた感度

CCD カメラタイプのイメージャーでありながら、励起光源として LED ではなく、半導体レーザー光源を採用しています。LED を励起光源とするイメージャーよりも優れた蛍光検出感度を持ち、波長間のクロストークも抑えることに成功しています。

#### 主観に頼らない画像解析を簡単に短時間で

Empiria Studio® ソフトウェアは、客観性の高いバンド定量を再現性高く行うことを可能にします。しかも実験群間の発現差の数値化とグラフ化を従来のソフトウェアよりも短時間で簡単に行っていただけます。

#### 大切な実験データをまとめて適切に管理

Empiria Studio ソフトウェアを用いることで、生画像、画像解析結果（定量データ）、画像解析プロセス、実験条件ノートなどを 1 つのアーカイブファイルとして保存して、ラボ内あるいはラボ間で保管・共有することができます。



株式会社スクラム

世界の価値ある技術をあなたの元に

## 定量ウェスタンのデータが安定しない？

同じ実験を行っているのに、実験のたびにバンド強度がばらついて、安定した発現比データを得られないという経験はありませんか？

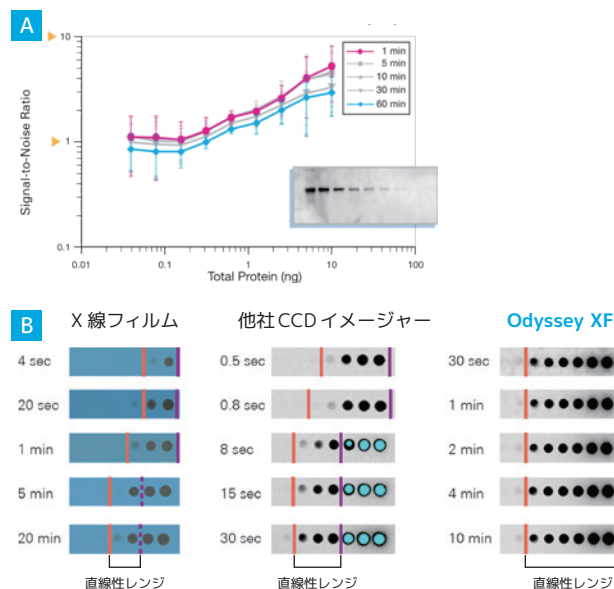
蛍光ウェスタンブロット法は、化学発光ウェスタンブロットと異なり、バンドシグナルの生成に酵素反応を用いないため、常に一定のシグナル強度を得ることができます。

しかし、蛍光ウェスタンブロット法を用いても、露光条件がそのたびに代わると、バンド強度や実験群間の発現比を再現するのが困難になります。

Odyssey® XF では、定量的なウェスタンブロットに最適化されたシグナル検出法を用いるため、異なる撮影時間でも一定のバンド強度を得ることができます（図 A 参照）。

さらに、>6 桁のダイナミックレンジにより、どの撮影条件でも弱いバンドから強いバンドまで 1 回で撮影が可能で、幅広い定量範囲を確保することができます（図 B 参照）。

定量ウェスタンブロットの再現性を向上して実験結果に信頼性と自信を与えます。

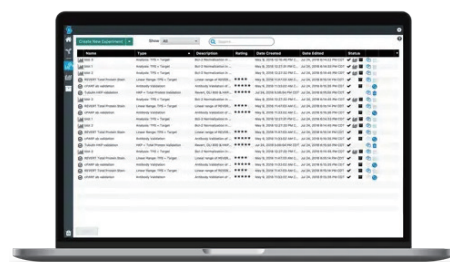


## ウェスタンブロット実験のデータ管理をどうしていますか？

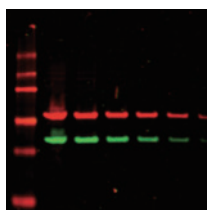
従来のソフトウェアでは、生画像、解析後の画像、バンド定量データ、実験群間での発現比データをそれぞれ別々に保存していました。

Empiria Studio® ソフトウェアを用いると、それらのデータに加えて画像解析プロセスと実験条件メモも含めて、単一のファイルとして保管することができます。

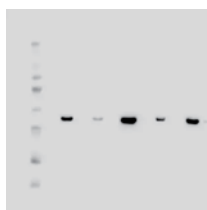
ラボ内でのデータ管理や実験の引継ぎ、あるいはデータ報告のプロセスを改善します。Empiria Studio を所有する共同研究者間でのデータ共有も促進することができます。



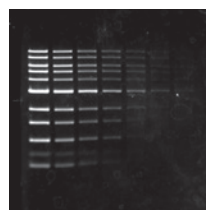
## Odyssey XF 対応アプリケーション



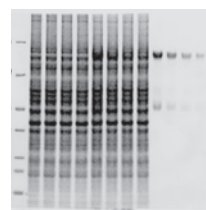
蛍光ウェスタン  
ブロットティング



化学発光ウェスタン  
ブロットティング



DNA ゲル



クマシー染色  
タンパク質ゲル



※ 本製品は試験研究用です。医療や診断目的にはご使用いただけません。  
※ 価格、外観、仕様などは、予告なしに変更することがあります。  
※ それぞれの商標や登録商標、製品名は各社の所有する名称です。

代理店

輸入元



株式会社スクラム  
世界の価値ある技術をあなたの元に



東京本社

〒135-0014 東京都江東区石島2-14 Imas Riverside 4F  
TEL : 03-6458-6696 (代表) FAX : 03-6458-6697

西日本営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-3 NLC新大阪アースビル403  
TEL : 06-6394-1300 FAX : 06-6394-8851

E-Mail : webmaster@scrum-net.co.jp

LC20260624